

令和7年度 第2回伊勢原市学校給食運営審議会 議事録

[開催日時] 令和7年11月17日(金) 午前10時から正午

[開催場所] 伊勢原市役所3階 3B会議室

[出席者]

(委員) 西原口 紗希子：伊勢原市PTA連絡協議会副会長
溝口 健太郎：公募委員
神戸 佳子：東海大学児童教育学部児童教育学科教授
嶋本 信之：小学校長代表
櫻井 綾子：中学校長代表
吉田 容子：栄養教諭・学校栄養職員代表
(事務局) 今井学校教育担当部長 守屋参事 福田学校給食係長 北村栄養士

[公開可否] 公開

[傍聴者数] 0人

[審議の経過]

- 1 開会
- 2 教育長挨拶
- 3 委嘱状交付
- 4 委員紹介
- 5 諮問
- 6 議事「学校給食費の額について」
- 7 その他
- 9 閉会

[内容]

- 1 開会
- 2 議事
(議長)

前回の審議について、整理します。

教育長から、給食の食材が高騰していることから、令和8年度の給食費の適正な金額について、諮問がありました。

諮問を受け、事務局から1食当たり小学校は325円、中学校は354円と提案があり、この金額の是非について、皆様と審議を行い、値上げについては、皆様の賛同が得られたと考えております。

ただ、令和8年度のお米の価格が見込めない状況では、これ以上検討することが難しいため、第2回の審議会でお米の価格の状況を見極めて答申額を決定することになっていたかと思えます。

また、第2回の審議会の開催前に、事務局から、お米の状況や提案された給食費の額の修正について、委員全員にメールで連絡がありましたので、まずは事務

局から修正内容の説明を受け、その後、給食費の額について審議をしたいと思います。

(事務局)

資料に沿って修正内容を説明。

適正な給食費の額について、小学校は1食 335 円、中学校は1食 367 円に修正し提案した。

(議長)

ありがとうございます。今日、委員からお配りいただきましたこちらの資料についての説明もお願いいたします。

(委員)

前回、単純に物価上昇の値段だけのお話がありましたが、私たちが献立をたてていく中では、栄養素がきちんと満たされているということはもちろんのこと、いろいろな食材を使いたいと思っています。

以下、資料に沿って説明（要約）

○配布された資料

物価高騰下における給食献立作成の工夫が示されており、今年度実施・予定の献立（左側）に対し、本来実現したかった理想の献立（右側）が記載されており、それらを現行の価格（精白米 6,050 円/10kg、そのほかの給食物資の価格は令和7年度2学期の価格）で試算したものが配布された。

○説明内容

1 行事食・楽しみの重視

- 子どもたちの楽しみや行事に合わせて七夕ゼリーを付けた献立にしたかったが、予算の都合で断念した。

2 食材の多様性と栄養強化

- 魚は「太刀魚」を使用したかったが、価格の安定した「鯖」を使用した。
- 中華スープの具材も、「青梗菜」を入れて食材に変化を持たせたかったが、そのほかの汁物も「人参・玉ねぎ」に偏りがちであった。
- 11月の献立では、子どもに人気の「鶏ささみチーズフライ」（カルシウム強化）を採用したかったが、「チキンカツ」に変更した。
- 鉄分強化のために「ひじきの佃煮」を追加したかったが断念した。
- 芋煮の肉も、より良い部位を望みつつ、安価な「豚肩肉（脂身多め）」を使用した。

3 栄養素の充足率

- 理想の献立にした場合、栄養素の充足率が上がる。
充足率：エネルギー94%→97%、タンパク質 93→101%
- 特に摂取が難しいとされるカルシウム（95→99%）と鉄（93→102%）の充足率が向上する。
- ただし、計算上の充足率を満たしても、子どもたちが残せば意味がないため、完食できる量と嗜好性のバランスも考慮している。

4 費用と今後の懸念

- 試算は10月までの米価（6,050 円/kg）で算出されており、11月以降の米価上昇はさらなる費用圧迫の懸念材料となっている。

5 小学校給食費の提案

- 1食あたり 350 円を提案する。

6 算出根拠

- ・既存献立（7月、11月、1月）の平均原価から税込 348.02 円を算出し、今後の物価上昇率及び削減できる箇所を考慮し、350 円が適正な価格と判断した。

(委員)

9 ページで提案する給食費ですが、最終的に小学校 260 円、中学校 280 円の保護者負担はいくらになるのか、また、公費負担はいくらなのか、もう 1 回教えてください。

(事務局)

先月の首相の所信表明で、小学校給食の無償化が載っております。報道等によりますと、自民、維新、公明が引き続き調整しているようで、県等にも確認をしておりますが、国からは、まだ示されていない状況です。国から全額いただければ、来年度の小学校は無償化となり、保護者負担が 0 円になるということです。

中学校は言及されておりませんので、保護者負担をいただくとありますが、保護者負担をいくらにするかは、市としてもまだ決まっております。

今ここでいう 335 円を最終的に答申いただいて、来年度いくらで給食を実施するかということですが、国から全額交付がなかった場合に、徴収をするのか、それとも市が負担をするのかということも含めて、今後、検討になると思っております。国から詳細が示されておりませんので、いくらかというお答えはできません。

ここに示している公費負担は、国の重点支援地方創生臨時交付金を活用しており、物価高に対する補正をどういう内容にするかも、今、国で協議されているところで、引き続き給食費が対象となるかどうか、また無償化で全額いただけなかった場合、差額に引き続き国の重点支援地方創生臨時交付金を使えば、保護者の負担なしでできる可能性もあると思っております。

今、国の情勢を注視している状況です。

中学校は、交付金が使えば、引き続き来年も保護者負担額を増やさずにできるかもしれないという淡い期待を持っているところです。

質問に対する答えとしては、実際は不明だというのがお答えになってしまいます。

(委員)

先ほどご説明いただきまして、献立を本当に工夫されていることが、こうして見ることで、繋がってきました。資料に示されたメニューを子どもたちに食べて欲しいと思います。

いろいろな食材に出会うことは、例えば、ほうれん草の胡麻和えは、5 年生が調理実習をした後に、給食でまた出会うことで、「あのとき美味しかったね」、「給食で出るとこういう味なんだね」とか、学んだことが広がりにもなることと、やはり七夕ゼリーというのは 1 年に 1 回の楽しみであることは間違いなく、子供たちの楽しみと学びが繋がるという両面から、示してくださった金額が妥当であると感じます。ぜひこのような献立で給食を提供してほしいと保護者から願います。

(委員)

給食を食べていて、魚は鯖が多く、また鯖かって思っています。同じように、野菜はキャベツが多いです。

自分はそれでも美味しいし、好きだからいいのですが、給食というのは、ただ栄養をとればいいだけではなく、食文化を学ぶとか、食育の観点からも、いろ

んなお魚を食べることが、日本人の文化として学べるのでいいと思います。ぜひ、このような調整内容になるような金額設定にしていきたいです。

(委員)

私から2点です。

1点目は先ほど委員からもお話があったように私も同感で、やはり旬の食材を取り入れたり、種類が豊富でいろいろな食材を入れたりということは、食を楽しむ一つになりますし、子ども同士とか親との話題の一つにもなると思います。ひいては食育や食文化に繋がると思います。

また、そのような食材、太刀魚とか、チンゲンサイ等を取り入れて、それが栄養要素の充足率に繋がるとということが非常に重要かと思えます。

2点目は米価と他の食材についての価格です。米価については、政府の方針転換もあり、今後生産拡大が見込めない状況に今どんどんなっています。よって最近の動向では、米価も最高ということで高止まりが予測されますので、現状の価格を維持した方が妥当かと思えます。

加えて、新政権になり、マイナス傾向が顕著に推移しています。国産食材でありましても、それをつくるエネルギーに関しては輸入に頼っている。食材は円安傾向が続く限り、値下がりには期待できないと思います。

よって現状、おかずの算出根拠の上昇率はこれが下限とし、そこを基準に考えて行くのが妥当かと思えますので、今回の提案について賛成の意向を示します。

(議長)

今回の提案に賛成いただいたのは、9ページにある335円ということですね。

(委員)

左様でございます。思いとしては、もう少し上乘せしても、問題はないと思っております。これが下限と考えております。

(委員)

今、保護者の目線でお話をお聞きして、これが下限だろうということ、さらに今日、栄養士さんから提案していただいた献立の調整を見て、この調整の献立を本当に食べてほしいというご意見も伺って、学校の校長としては大変安心をしたというか、ありがたいご意見であると思っております。

私も9ページで提案する給食費については、委員と同様で、これがやはり下限なのかと思えます。

ここで物価が落ち着くような様子もありませんし、どちらかというところからさらに上昇していくことを考えますと、事務局案より少し上げてもいいのではないかと、ご提案をいただいた別資料もありますので、ご賛同いただけるのではないかと、他の委員の方のご意見を伺っていたところです。

私も毎日検食をしており、先ほど委員からもお話があったとおり、同様だと思っておりますが、ここに参加させていただいてるので、本当に少ない単価で工夫して給食をいただいていることに、栄養士さん、給食調理員さんに、日々、本当に頭が下がる思いです。

学校の現状を見ますと、小学校はもちろんそうだと思いますが、給食を楽しみに登校してきている子どもがおり、今は、不登校の子ども数も非常に増えているということですが、給食をきっかけに登校ができているというような現状も学校の中にはありまして、学校の中での給食の役割というのは、ただ栄養を子どもたちに与える以外に心の栄養という意味合いもありますので、ぜひ豊かな伊勢原の小学校中学校の給食という視点で、もう少し上げてもいいのではないかとというのが正直な意見です。

(委員)

給食費は、学校徴収金として口座から引き落としになっていますが、たまに、突然来られた方とかは現金徴収をしています。

現金徴収する場合5円という集め方が、非常に大変でして、運用上、できればかなりの金額がいいと思ってますので、340円でもいいと思っております。

(委員)

資料13ページのご飯の上昇率が8.21%、それから、去年ですが実質は87.43%の上昇率ということで、これとおかず一食当たりの上昇率を換算して実質上乗せした場合、もう少し金額はいくのではないかと思います。

加えて資料をいただく前に、前回の資料を見直し、金額を調整しないとイケないと思っていました。先週、資料をいただき、もう一度読み返してほっとした反面、自分で試算したところ、金額が100円ぐらい上がるのではないかなと思っていました。今回の答申で小学校が9ページの293円から335円で、実質40円ぐらいでしたので、あと50円ぐらい足りないのではないかと思います。

以上のことから、先ほど、これは下限ですという話をさせていただきました。

よって、先ほど委員会からもありました徴収の運用の話から考えて、もう少し切りのいいところでも問題はないというのが私の実感です。

(議長)

もう少し切りがいいというのは340円でしょうか。350円でしょうか。

(委員)

50でも400円でもいいと思います。自分の算出では100円ぐらい上乗せいただいたらと思っています。

(委員)

今、私は他の市で給食を食べておまして、いくらプラスされているかは分かりませんが、そこの市の徴収金額が330円です。

給食内容でPTA本部会がある日は、伊勢原の小学校の給食をいただいており、比べてみると、50円ぐらいの違いが、かなり大きいとい実感しております。

保護者の集まる本部会などで、どれぐらい給食費が上がってもいいか意見を聞いてみました。給食で苦手なものばかりで今日食べてこなかったという日は、帰ってきて、肉まん食べて、何食べてとなると、金額よりも子ども達の満足感の方が親としてはありがたいという話でした。限られた中での話だったので、それが全てだとは思いませんが、本当にこの会議に出ることで、すごい工夫やご苦労をされてることを見ると、いろいろなものを味わうことができる金額を示していただければ、中には反対意見をされる方はいらっしゃると思いますが、それよりもありがたいという方が多いのではないかと思います。

(委員)

私も同じ意見です。給食費を上げるときに、根拠とか理由というのを示されると思います。その際には物価上昇率の話もありますが、現状として先ほど冒頭で委員がご説明いただいたとおり、本来あるべき献立に対して、今、削減とか改善軽減をしてるところを元に戻すことと、給食費を上げますということに合わせてご説明することによって、値上げに対する理解とか納得を保護者からはいただけるのではないかと思います。

(議長)

概ね皆様からご意見いただいたかと思えます。

全体として、335円が下限であるというスタンスでございますが、今お話を伺う限り、明らかにそれに上乗せし、そして皆さんがほぼ納得いただける意見は350円ではないかとっております。

根拠としましては、一つは物価上昇率ですが、その物価上昇率の今後が見通せないとなると、おそらく掲載いただいた数字が一番穏当に上昇した場合であり、今後もしかしたらもう少し上がる可能性も含むということです。

もう一つは、現在の給食費がここ数年間、かなりの物価上昇があったにもかかわらず、栄養士・栄養教諭の先生、そして実際に給食調理に当たる皆様の努力で、メニューも変えてかなり抑えてきた額が現在であるということで、これからの世の中を担っていく子どもたちに、より整った給食を食べて欲しいという願いを、当然、先生方そして保護者の皆さんが持ってらっしゃるということ踏まえ、頑張って抑えてきたものを少し元に戻し、なおかつ物価上昇率を勘案した場合、350円で提案と理解いたしました。

中学校については、小学校の案を350円と仮にした場合、中学校は1.3倍ですね。

(事務局)

小学校を350円とした場合、中学校は牛乳を入れて455円です。牛乳代を除くと386円になります。

(議長)

中学校については、小学校をもとにした1.3倍の額から牛乳の金額を差し引いた額で386円と出てきております。

1.3倍で計算いただいておりますが、この上昇率を受ける影響が中学校の方が多く、あるいは少ないという事情はございますでしょうか。

(委員)

中学校の方が弁当箱の形式のため仕切りがあり、枠が決まっています。

小学校の場合はお皿なので、2品ある時があれば1品の時もあり、食材を調整できますが、中学校は、分けられたところにおかずがないわけにはいかないので、多分、中学校の方がやりくりは大変ではないかと思っています。

(委員)

弁当箱の枠が決まっているというお話ですが、例えば給食費を値上げした場合には、品数は同じなんだけど、量が増えたりとか、その食材の質が上がったりするということでしょうか。

(事務局)

給食費が上がった場合、弁当箱を満たすのはもちろん、弁当箱の中の食材の量が増えたり、質ということとお魚の種類が増えたりもしますが、汁物が今までのようにいいペースで付けられたり、汁物が付かない日には、例えばヨーグルトやデザートとか、何かもう一品付くという元の形に戻せるのではないかと思います。

現在、厳しい状況のなかで工夫し栄養量を満たすようにしています。寒くなってきており、温かいものを生徒さんに食べていただきたいので、基本的には汁物を提供するようにしていますが、弁当箱の中を先に満たさなければならぬので、汁物の提供回数が若干減っています。

(委員)

386円という計算だと、お弁当箱の他にプラスワンがつきそうですか。

それとも中学生となってもう少し金額の上乗せが必要ですか。

(事務局)

386 円であれば汁物とかを元にもどせる希望は一担当者としてはあります。

(委員)

給食費が値上がった分は、現状の原価が低減したものを、ただ単に物価上昇で現状維持となるのか、それともプラスワンが復活するかというご質問ですが、いかがでしょうか。

(事務局)

後者の値段であれば、今までどおり汁物やデザートが元の内容にもどす希望が持てそうです。

(委員)

今、ご飯のおかわりの数も 8 人に 1 個だったのが 12 人 1 個変えていて、すごく工夫してもらっている。

工夫してもらっている内容にプラス何かということであれば、この額で大丈夫ですか。

(事務局)

やはり内容の充実とか、今までのようにプラスワンということになると、このぐらいの金額になると思います。

今、提供しているものをベースにして、この先の試算をしています。委員からお話があったように、切り詰めて工夫しているところがベースになっています。そこから、この先の見通しを立ててますので、このぐらいの金額になると思います。

(委員)

先ほど希望が持てるとおっしゃってましたが、プラス 15 円にすれば確実にでしょうか。

(事務局)

後半のプラスの値段ぐらいの余裕というか、含みがないと、内容の充実もそうですし、食材の選択がこの先厳しい状況にあると思います。

業者様からの物資の動向を伺うと、お魚などがこの先も上昇傾向にあります。献立では鯖を提供していますが、不漁や原油高の上昇により、この先、鯖の値上がりが見込まれています。そうすると、今まで使えた食材が、この先の使用の見通しが怪しいという少し先の情報がありますので、同じような工夫が引き続きできるかということ、給食物資の選択によっては厳しいと思っています。

(委員)

中学生の娘は豚キムチを楽しみに学校に行きました。

今日のメニューを今見たところ、麦ご飯、豚キムチ、春巻き、3 色野菜ソテー、大根とわかめのスープです。この金額でこれだけのものを出していただいていることに、今改めて、ありがとうございますという思いですが、成長期で、割と細い方である娘がよく言っていたのですが、もう 5 時間目が終わると、お腹がすいているんだよねという言葉が聞くと、きっと男の子で割と食べる方のタイプの子は、もしかしたらもう少し食べたいけどという思いがあるのではないかと考えると、金額を少し上げてでも、やはり子供たちの満足度を上げることが、学校生活の喜びというか、満足度に繋がっていくのではないかと考えると、やはり小学校同様、中学校でもそれが実施できるようにしていただきたいという思いです。

(委員)

今回、小学校の給食費は、290 円が 293 円に上がっていますが、その前は、小学校は 290 円、中学校は 310 円で小学校の給食費にプラス 40 円となっています。

で、それを考えると、350 円プラス 40 円で、390 円でもいいのではないかと思います。

(委員)

数字的な根拠や単に倍率だけで考えれば、多すぎますが、400 円はどうでしょうか。

1.3 倍以上になってしまいますが、確実なプラスワンの分というのがひとつと、物価上昇率 2.3 倍が上がる可能性もありますし、また、徴収の話もありましたので、変動とかは見込みで、微妙な調整は公費負担で調整が可能かと思しますので、一旦は 400 円で置いてみるが私の意見です。

(議長)

事務局へ質問です。1.3 倍というお話がございましたが、これについては変わっても大丈夫でしょうか？

(事務局)

1.3 倍未満にならないければ、栄養価が下回ることにはならないと思われるので、大丈夫です。

保護者の方に 1 点質問です。

小学校は無償化の見通しですが、中学校はほぼ考えられません。そして公費負担もほぼ考えられません。

市ではその場合に、ゆくゆくは 400 円にせざるを得ないという場合に、400 円を保護者から徴収することに、どんな感じを受けられるかという質問です。

国の交付金が使えれば、その年は保護者負担額を上げることなくできると思いますが、交付金がない場合、市にそこまで耐えられる財政的な余裕がないので、そのまま保護者負担ということが考えられます。実際 400 円が保護者負担となった場合の御意見、御感想をお伺いしたいです。

(委員)

今、同じメニューを外食で食べると考えたら、今だったら 3 倍の金額になると感じます。

中学校のいいところは、納得いかない方は選択しない方法がありますので、多分選択されるという方は 400 円でも、このようなメニューを作ってください本当にありがとうございますという気持ちを込めて注文しているので、10 円 20 円安かったら、注文する、しないの選択が変わるということはないと思います。やはりそういう思いがあれば、弁当という方法もありますので、この金額が納得いかないという意見にはならないのではないかと感じます。

(委員)

私事ですが、子どもが中学校に 2 人通ってまして、計算すると約月 5,000 円の増なので確かに年間でいうと大体 6 万円弱というところ、それなりの覚悟が必要ですが、先ほど委員がおっしゃっていたとおり、400 円という内容については、給食のスケールメリットを十分実感できてますし、外食及び自分で食材を買って調理することで、自分たちも物価上昇は理解していくし、致し方ないことでもありますので、小刻みに少し上げていくとか、年度途中で急に足りないのでは上げるというよりは、1 回で設定をしますという考え方の方がいいとは思っています。

今後公費負担はなくなるのですか。

(事務局)

今回、国で検討されている交付金には給食費の援助も入っており、給食費も使えるとなれば、交付金を翌年度に回して使えると思っておりますが、まだはっきり分からないので、仮に交付金がなくなった場合にはという話です。

市も交付金等、使えるものは活用して、公費負担を実施したいと思っていますが、市で単独だけということになると、なかなか簡単ではないということです。
(委員)

私は保護者でもありまして、中学生が2人いますので、金額としては委員と同じような形になると思いますが、やはり朝、毎日お弁当を作って、それを持たせて二人分とか、いろいろ考えるとすごく給食はありがたいと思います。作ってる側でもあります。お弁当を作る時間を捻出してとかを考えると、給食費が上がっても、その値段でも出そうと思います。

入学の時に、保護者同士で頼む、頼まないという話のときに、毎日作るのは大変だからという意見の人もいれば、どんなものか分からない、好き嫌いもあるからとお弁当にするという意見もあり、金額云々よりも、好き嫌いがある、時間的な制約などで選んでる人が多いのかなという印象がありました。

(委員)

小学校がプラス90円の値上げだとすると、中学校は小学校に比べて給食費が1.3倍、値上げ分も1.3倍と考えると、117円なるんですね。そう考えると120円が妥当かなとは思いますが、120円値上げになるかもしれないとなった場合の保護者負担を考えると、これは結構きつい話だと思います。なので、ぜひ公費負担の部分で、そこは何とかしてもらいたいと思っています。

(委員)

実は公費負担があるから、保護者負担280円で食べられるということが、どれだけ保護者に浸透しているのかと思うと、もし来年度公費負担が0になってしまうと、一気に120円の値上がりということになると思います。

今、格差社会の中で、いろいろな子どもたちが中学校に通ってきていることを考えると、就学援助のみなし認定により、4月からの給食費を担保していただけるのは、本当に校長としてはありがたいです。しかし、仮にその人がみなし認定から外れたら、負担感は非常に大きくなると思います。

前年まで就学援助を受けていて給食費の負担はなかったが、今年度、就学援助の認定から外れて給食費を負担するようになった場合や、みなし認定により給食の提供があったが、認定から外れたとなると、その御家庭の給食費の負担が非常に大きくなります。

例えば、委員の御家庭のように中学生2人を通わせてる御家庭はかなりありますし、また、ある程度教育費にお金がかけられる御家庭ばかりではなく、就学援助等を受給している、または昨年は就学援助の認定がされているが、今年は認定されるかどうか分からないという御家庭にとっては、かなり大きな負担になるのではないかと思います。そう考えると、先ほど示していただいた12ページの一覧の他市との給食費の比較を見ても、400円台のところはほとんどないです。300円台後半と考えると、400円にしたときに、お子さんの教育費にかかる家計の割合が非常に苦しい御家庭にとっては、給食費の一食当たり120円の値上がりは、厳しいのではないかと考えます。

中学生もいらっしゃる御家庭の委員の皆様からは、もうぜひという御意見はとても嬉しいし、本当にありがたいと思っていますが、就学援助を受けている御家庭や、教育費がなかなか難しい御家庭などのお子さんには、特に給食で栄養を取ってもらいたいと考えると、急に120円の値上げは厳しいのではないかと思いますので、委員が先ほどおっしゃった、少し400円には欠ける390円あたりというのが妥当ではないかと思います。10円しか変わらなくてどうだろうと思いますが、見

え方としても妥当で、今まで通り 1.3 倍掛けて牛乳費代を引いた 386 円あたりが
いいのではないかとも思います。

(事務局)

補足ですが、中学校の就学援助と生活保護の世帯については、必要なお金は満
額出ます。

ただ、委員がおっしゃったように、就学援助から外れる、又はちょうどボーダ
ーの辺りの方が影響を一番受けやすいと思います。

本市の就学援助制度とみなし認定について説明

(委員)

そうするとボーダーで外れた人は、厳しいですね。

(委員)

それが 2 人いられたりすると厳しいと思います。

ただ、このみなし認定は、中学校からすると大変ありがたいシステムで、県内
いくつかデリバリー給食を実施していますが、みなし認定を実施している市は伊
勢原市だけだと理解してます。

(委員)

他市だと一旦、始めは払って、後で返ってくる。その方がいいですよ。

(事務局)

なるべくそういった世帯のお子さんにもご利用いただきたいということから実
施しています。

(委員)

市民に寄り添ったシステムだと思うのでいいのですが、ただ外れたときには、
負担が大変ではないかとも思います。

それと、12 ページの他市との給食費の比較の中学校給食費では、伊勢原は公費
負担を含めて 393 円で、他市で 400 円を超えてるところはないですが、公費負担
が少し高いのが少し悩ましいところですが、400 円でも問題はないと思います。
もう 1 点、11 月 1 日現在ですが、他市の動向は上がる予定ですか。

(事務局)

今後はまだ分らないです。検討してますという市と、改訂したばかりなので
上げませんという市もありました。

先ほどもお話があったとおり公費負担が分らないので、どこの市も悩んでい
る状態です。

ここに書いてある金額は牛乳代込みの金額ですので、先ほどの 390 円や 400 円
に 69 円足さなくてはいけない。そうすると金額が違ってくるので、御確認いた
だきたいです。

(委員)

一番上の C でいくと今 430 円ですが、これは牛乳代を引かなければいけないと
いうことですか。

(事務局)

そのとおりです。約 70 円引く。そうすると、360 円くらいです。

(議長)

物資の値上がりという不確定要素にプラスして公費負担が全く未知数である
という現状において、根拠が誰も示せない。ただ、生徒にとって望ましい給食、お
弁当であっても妥当なところはどこかというところで議論が進んでいるとは思
います。

他市も上がってくると思います。本市も現状 327 円でかなり低く、他市もここに示されている金額でやっていけるとは思えないので、おそらく上がってくると思います。

間をとって 390 円でいかがでしょうか。

(委員)

牛乳代を含め 470 円くらいになった場合、グレーゾーンのご家庭が給食を頼むのはやめようというようなことになると、セーフティーネットの役割が機能しなくなり、本当は食べて欲しい御家庭に給食が提供されないことにならないか心配なので、390 円で良いと思います。

(議長)

ぜひ、市には何とか公費負担をしていただけるような御努力とか、セーフティネットとして維持できるような施策をお願いしたいと思います。

では、答申案につきまして事務局から説明いただけますでしょうか。

(事務局)

答申案の構成について説明。

(議長)

まず、金額について確認させてください。

(1) 小学校 1 食当たりの給食費 350 円 (2) 中学校一食あたりの給食費 390 円で、ただしこれは参考となります。

理由についてはそこに示していただいたとおりで、上昇率は後ほど事務局で数値を入れていただけたらと考えて理解いたします。

理由の (2) ここに何か入れていただくかどうかというのが一つ目の内容となりますが、いかがでしょうか。可能性としては充実したところを理由にするのか附帯意見にするのかという選択かだと思います。

(委員)

もし (1) のその上昇率を計算した場合に、その上の 350 円 390 円に届かない場合は、理由が必要だと思います。

1 回下げている給食の内容を元に戻しますということは理由になると思っています。これは、絶対やらなければいけないこととして共有してきたことと思っています。

充実させたいというのは意見になると思っています。

(議長)

ありがとうございます。賛同の方が多いので、(2) の理由を、ここ数年の物価上昇に際して、材料の工夫、メニューの工夫などでかなり抑えていた部分を元に戻すという内容にします。

附帯意見として何かございますでしょうか。

事務局に質問です。

ここで公費負担できるだけ頑張るとか書いていいものでしょうか。

(事務局)

事務局としては、まず国の交付金を充てにしたいところです。特に中学校、満額もらえない場合にはどのようにするのか、そこも公費負担というところは、場合によっては考えなければいけないときもあるかもしれないので、公費負担を入れるのは駄目ではないと私は思っています。

(委員)

急激な上昇を抑えるということですね。

(事務局)

役所用語では激変緩和措置などと言いますが、そのようなイメージです。

(委員)

あとはこれ一保護者としての意見かもしれませんが、保護者も負担を頑張るので、行政も公費負担の分も連動して頑張ってください。納税も頑張りますのでという附帯に入れるかどうかとは思いますが、そこはお願いしたいところでもあります。

(事務局)

内容は考えますが、附帯のところに公費負担の検討というような形でいただくのが一番よいかと思います。

(委員)

物価が安定してなく、今後の物価の動向が見通せないため、これが最終ではなく、今後も物価上昇の状況を注視してほしいということを言葉として入れた方が、附帯意見になるだろうと思います。

(議長)

2点付帯意見で伺っております。公費負担部分を努力いただきたいという点と、物価上昇が今後も見通せない中で、そこに速やかに御対応いただけるように注視いただきたいという意見です。

(委員)

委員全員の認識として、給食の質の向上と維持は必ず必要ということが前提であると思いますので、そこは少し意見というか、考え方の方針ということを少し書いてもいいのではないかと思います。

(議長)

今、委員からあった内容は、附帯意見なのか、答申又は審議会の基本姿勢だったのかもしれないのですが、給食費の額を更新するにあたって、審議の中で、子どもたちの成長を守る給食ということの意味を深く考えた上で、まずはそこを全員の共通認識として検討に当たったのがスタートであるということは、とても大事な状況だと思います。

その上でいろんな諸事情、物価の上昇とか、さらに細かな点を、常に子どもたちを育てるにはどうしように戻って審議したというのが、本審議会の本質だったかと思います

附帯意見はこれでよろしいでしょうか。

他に各委員からお話しておきたいことはございますでしょうか。

それでは、以上をもちまして今年度の審議会は、終了いたします。

3 その他 事務連絡

4 閉会